

2019 年度第 1 四半期決算説明会

概要

日時：2019 年 7 月 31 日（水） 15：30～16：30

場所：東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 21F

スピーカー：株式会社 WOWOW 代表取締役社長 田中 晃（以下、田中）

取締役副社長 黒水 則顯（以下、黒水）

取締役 尾上 純一（以下、尾上）

登壇

司会：それでは定刻になりましたので、株式会社 WOWOW、2019 年度第 1 四半期決算説明会を開催させていただきます。

本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。なお本日の説明会で話した内容と質疑応答に関しては、外部機関を通して全文配信および弊社ウェブサイトに掲載されますのでご了承ください。

初めに、本日の出席者をご紹介します。皆様方から向かって左側から、代表取締役社長、田中晃でございます。取締役副社長、黒水則顯でございます。取締役 IR 経理担当、尾上純一でございます。

それでは社長の田中より 2019 年度第 1 四半期決算ハイライトのご説明をさせていただきます。よろしく願いいたします。

田中：本当に暑くなりまして、お暑い中お越しいただきまして誠にありがとうございます。私からは 2019 年度第 1 四半期決算のハイライトだけお伝えいたします。

2019年度第1四半期決算 ハイライト

正味加入件数は12千件の純減だが、収支は増収増益に

加入

- 井上尚弥選手のボクシング世界タイトルマッチやテニス、星野源のライブ、連続ドラマW「ミラー・ツインズ Season2」などが新規加入を牽引
- しかしながら、5月のボクシングの大量加入の反動等により、前年同期と比べ解約は増加

(単位：千件)

	2018年度1Q	2019年度1Q	前年同期差	前年同期比
新規加入件数	152	148	△3	97.8%
解約件数	148	160	12	108.3%
正味加入件数	4	△12	△16	-

収支(連結)

- 売上高は前年同期と比べ累計正味加入件数が増加したこと等より、増収
- 経常利益は増収要因に加え、退職給付費用の減少等により、前年同期と比べ増益に

(単位：百万円)

	2018年度1Q	2019年度1Q	前年同期差	前年同期比
売上高	20,056	20,277	221	101.1%
営業利益	2,281	2,585	304	113.3%
経常利益	2,387	2,756	368	115.4%

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

お手元の資料あるいは前方のスクリーンにありますけれども、まず加入でございます。第1四半期の新規加入件数が14万8,000件。解約件数が16万件。正味加入件数が1万2,000の純減となりました。

加入に関しましては井上尚弥選手の素晴らしいボクシングの世界タイトルマッチ、テニス、あるいは星野源のライブ等々が新規加入を牽引いたしました。その一方でボクシングを筆頭とした加入の反動等々で、前年同期に比べ解約が増加したという状況でございます。

収支の連結でございます。売上高は前年同期と比べて累計の正味加入件数が増加したこともありまして、2億2,100万円の増収でございます。経常利益は増収要因に加えまして、前年同期と比べますと退職給付費用の減少等々によって、3億6,800万円の増益となりました。増収増益という結果となっております。数字の詳細につきましては、これはこの後、IR経理担当の尾上から説明いたします。

2019年度第1四半期 加入状況

(単位：千件)

	2018年度1Q	2019年度1Q	前年同期比較	
			前年同期差	前年同期比
新規加入件数	152	148	△3	97.8%
解約件数	148	160	12	108.3%
正味加入件数	4	△12	△16	—
累計正味加入件数	2,880	2,890	9	100.3%
内) 複数契約*1	416	413	△3	99.4%
内) 宿泊施設契約*2	61	66	5	108.8%

*1 同一契約者による2契約目と3契約目のデジタル契約に割引制度を適用（月額2,300円の視聴料金を900円に割引。金額は税抜き）

*2 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との個別契約

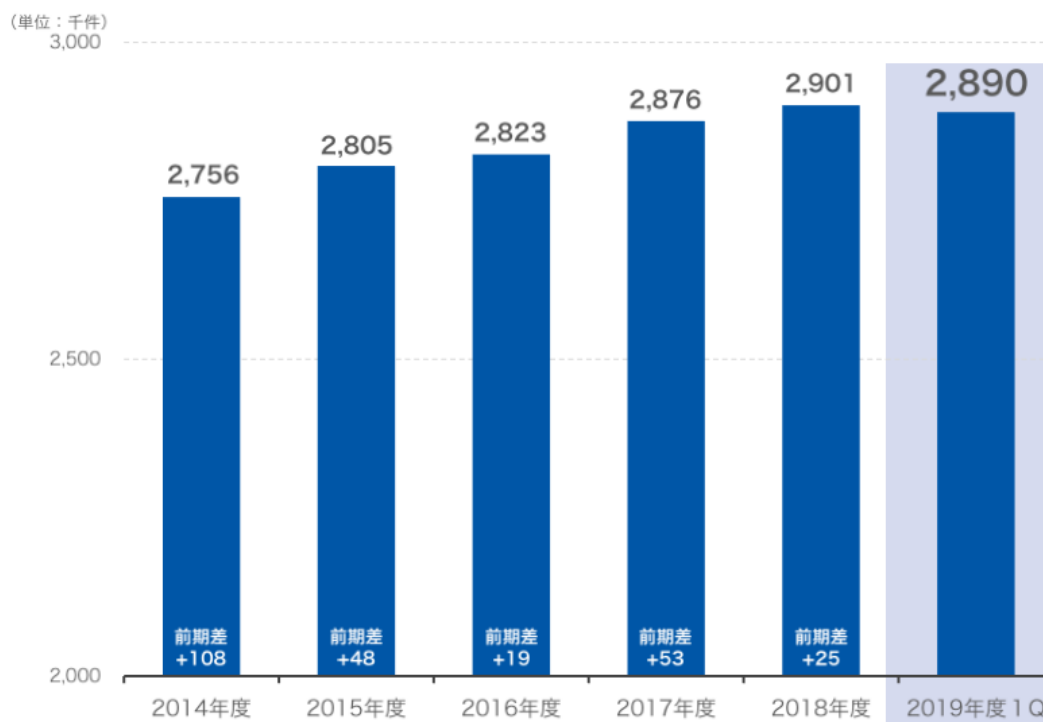
尾上：この度、IR 経理担当の役員に就任しました尾上と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず加入状況でございます。新規加入件数は14万8,000件、前年同期に比べ3,000件の減少となりました。先ほど社長の田中が申し上げた、スポーツコンテンツ等が新規加入を牽引いたしました。一方解約件数は16万件、前年同期に比べて1万2,000件の増加となりました。

5月を中心に加入のほうが増加したわけですが、そちらの反動で、6月に解約が増加したことが要因となっております。

結果、正味加入件数は1万2,000件の純減。前年同期に比べて1万6,000件の減少。累計正味加入件数は289万件。前年同期に比べ9,000件の増加となりました。

累計正味加入件数の推移



こちらは2014年度からの累計正味加入件数の推移となります。2006年から2018年度まで13期連続の正味加入件数の増加を達成しております。今期、14期連続の正味加入件数純増を目指してまいります。

2019年度第1四半期 収支状況

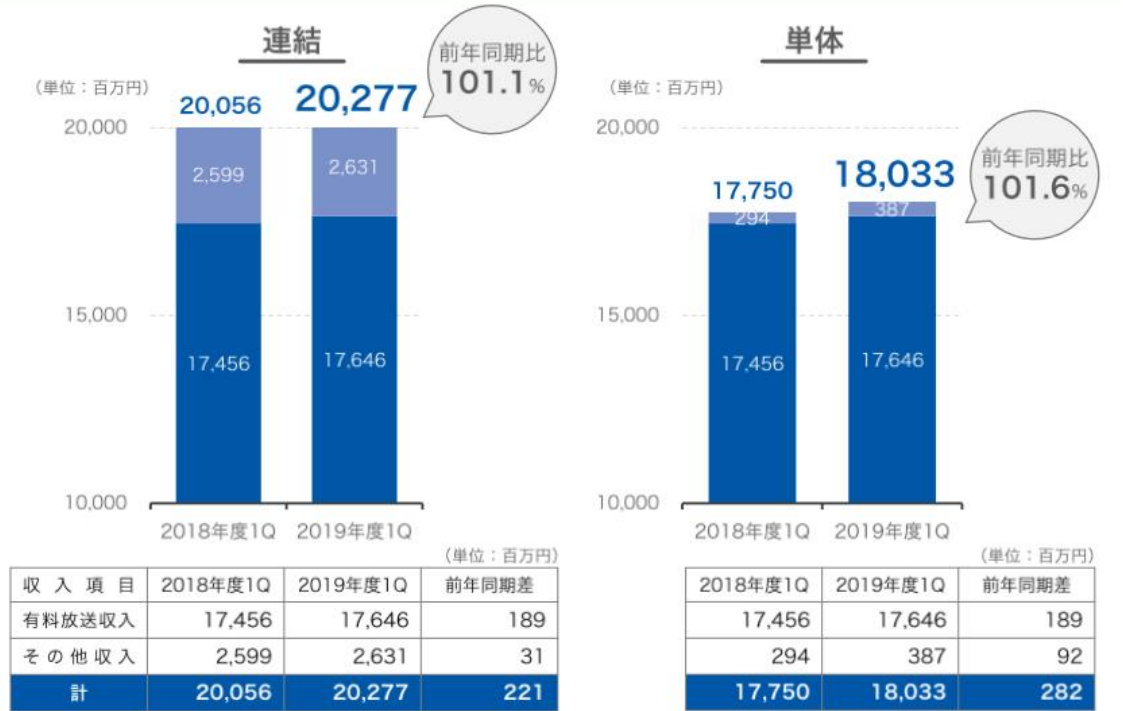
(単位：百万円)

		2018年度1Q		2019年度1Q		前年同期比較	
		実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
連 結	売上高	20,056	100.0%	20,277	100.0%	221	101.1%
	営業利益	2,281	11.4%	2,585	12.7%	304	113.3%
	経常利益	2,387	11.9%	2,756	13.6%	368	115.4%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,621	8.1%	1,888	9.3%	267	116.5%
単 体	売上高	17,750	100.0%	18,033	100.0%	282	101.6%
	営業利益	2,166	12.2%	2,509	13.9%	342	115.8%
	経常利益	2,439	13.7%	2,915	16.2%	475	119.5%
	四半期純利益	1,726	9.7%	2,080	11.5%	354	120.5%

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

収支状況です。連結の収支状況をご説明いたします。前年同期と比べまして増収増益となりました。売上高は202億7,700万。2億2,100万円の増収。経常利益は27億5,600万円、3億6,800万円の増益となりました。差異要因と詳細は次ページ以降でご説明いたします。

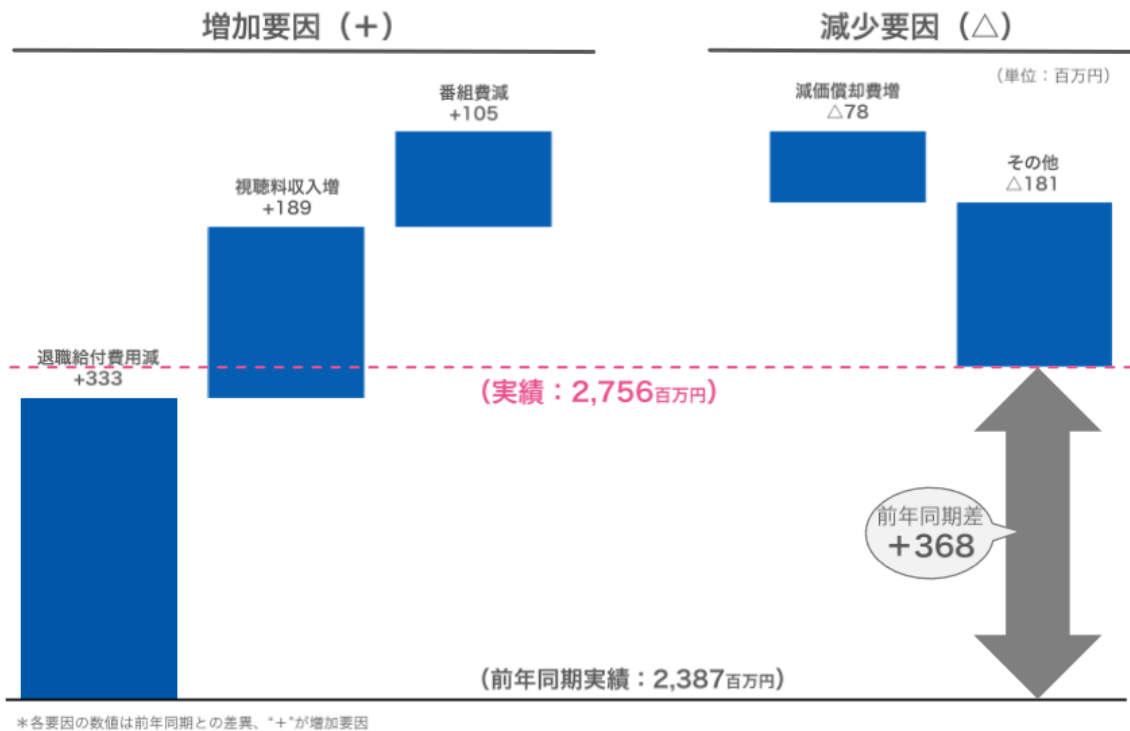
売上高 前年同期対比



それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

売上高の前年同期の対比となります。左側の連結売上高をご説明いたします。売上高は前年同期と比べまして2億2,100万円の増収となりました。その内訳としまして濃い青色の部分、有料放送収入は前年同期と比べ正味加入件数が増加したこと等により、1億8,900万円の増収となりました。薄い青色の部分であるその他収入には、WOWOWの単体でのイベント収入と付帯事業収入に加えて、連結子会社のグループ外の売上などが含まれております。前年同期に比べまして3,100万円の増収となりました。単体での増収幅に比べて減少しております。単体ではイベント収入等が増加いたしましたが、連結子会社のグループ外の売上が減少したことがその要因となっております。

連結経常利益 前年同期との差異要因



連結経常利益の差異要因となります。左側が利益の増加要因、右側が利益の減少要因となります。

まず増加要因ですが、退職給付費用が減少しております。3億3,300万減少しております。前年同期は退職給付の計算方法を簡便法から原則法に変更したことによりまして一時費用の計上がありました。今期はその発生がないといったことが差異要因となっております。

視聴料収入の増加が1億8,900万円となっております。前年同期と比べて加入件数が増加したことによるものです。

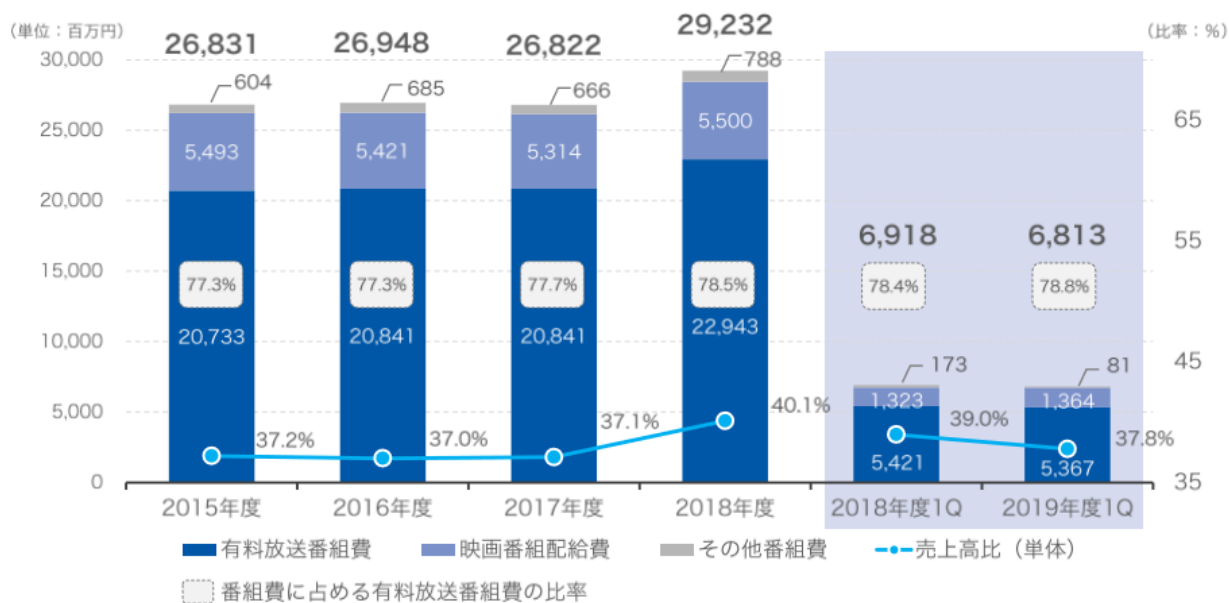
番組費が1億500万減少しております。こちらの詳細は次ページでご説明いたします。

続きまして減少要因です。減価償却費が7,800万増加しております。来年の12月開始予定の4K放送開始に向けた体制を整えるため、辰巳の放送センターの一部建替えを昨年度実施しております。その影響により、減価償却費が増加しております。

その他、1億8,100万円増加しております。こちらには連結子会社の利益減等の要因も含まれております。

番組費の推移

番組費はタイトル差等により、前年同期と比べ減少



*有料放送番組費：オリジナルドラマ、映画（ハリウッドメジャー以外）、スポーツ、音楽など
映画番組配給費：ハリウッドメジャーの映画 その他番組費：データ放送など

*数値はすべて単体
それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

番組費の差異要因のご説明をさせていただきます。前年同期と比べまして1億500万円の減少となりました。番組費の主な内訳としまして、濃い青色の部分であります有料放送番組費。こちらはハリウッドメジャー以外の番組の費用となります。前年同期に安室奈美恵や東方神起等の大型の音楽ライブがありました。今期は同規模の番組がなかったことなどによりまして、前年同期と比べて5,300万円の減少となっております。

薄い青色の部分は映画番組配給費と呼んでおりますが、ハリウッドメジャーから調達する映画の費用となります。主に番組タイトルの差等によりまして、前年同期と比べて4,000万円の増加となりました。

その他番組費はデータ放送などの費用となります。コストの減少等により、前年同期に比べまして9,200万円の減少となっております。

主要な連結決算会社の収支状況

■WOWOWコミュニケーションズ（テレマーケティング）

（単位：百万円）

	2018年度1Q		2019年度1Q		前年同期比較	
	実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
売上高	1,955	100.0%	2,077	100.0%	122	106.3%
営業利益	65	3.4%	15	0.8%	△50	23.8%
経常利益	65	3.4%	17	0.8%	△48	26.3%
四半期純利益	44	2.3%	10	0.5%	△34	23.3%

*WOWOWコミュニケーションズ単体の数値です。

■WOWOWプラス（放送）

売上高	1,286	100.0%	1,230	100.0%	△55	95.7%
営業利益	54	4.2%	45	3.7%	△8	84.2%
経常利益	54	4.2%	45	3.7%	△8	85.1%
四半期純利益	25	2.0%	27	2.2%	1	105.0%

*WOWOWプラス単体の数値です。

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

主要な連結決算会社の収支状況です。まず上側、WOWOW コミュニケーションズです。こちらはテレマーケティングを行っている会社となります。売上高は20億7,700万円、経常利益は1,500万円となりました。既存顧客からのテレマーケティング業務の受注等の増加によりまして、前年同期と比べて増収となりましたが、新規受注業務にかかる初期費用の発生等によりまして、売上原価が増加したことにより、減益となっております。

表下、WOWOW プラスでございます。BSおよびCS110度、ケーブルテレビ等でベーシック系のチャンネルを展開しておる会社でございます。売上高は12億3,000万円、経常利益は4,500万円となりました。前年同期と比べまして売上が減少したことに伴い、経常利益も減益となっております。私からのご説明は以上となります。

司会：それでは、これから放送する番組をまとめたビデオを上映いたしますので、前方のスクリーンをご覧ください。

司会：それでは引き続きまして、2019年度の業績見通しについて社長の田中よりご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

徹底的なコンテンツの差別化①

🎵 大型アーティストのライブを放送



サザンオールスターズ
LIVE TOUR 2019
「キミは見てくれが
悪いんだから、
アホ丸出して
マイクを握ってる!!」
だど!?ふざけるな!!」
8月24日(土)



3週連続!吉田拓郎
WOWOWスペシャル
8月24日(土)、8月31日(土)、9月7日(土)



氷川きよし
デビュー20周年記念コンサート
～あなたがいるから～
10月放送予定

📺 オリジナルドラマが充実



連続ドラマW
そして、生きる
8月4日(日)スタート(全6話)[第1話無料放送]



WOWOWオリジナルドラマ
悪の波動 殺人分析班スピンオフ
10月6日(日)スタート(全5話)[第1話無料放送]

田中：まずVTRの補足を少しさせていただきます。まず音楽ライブなんですけども、先ほどVTRにありましたサザンオールスターズ、それから吉田拓郎、GLAY、これなどに加えまして10月には演歌界のプリンス、氷川きよしさん。デビュー20周年のコンサートの放送が決まりました。

氷川さんとWOWOWはあまり接点はなかったんですけども、これまで音楽フェスに彼が登場したシーン等々の放送はあったんですけども、単独のコンサートの放送はWOWOWとしては初めてとなります。

氷川さんが20周年で、新しい世界にチャレンジをしたいという氷川さんの意向と、それから私どもWOWOWも新しい層のお客様にWOWOWの魅力をお届けしていきたいと。そういう思惑が合致しまして、今回初めての単独コンサートの放送ということが実現いたしました。

徹底的なコンテンツの差別化②

🏆 世界最高峰のスポーツをお届け



全米オープンテニス

8月26日(月)～9月9日(月) 連日生中継
[第1日無料放送]

特集:ニッポンで テニスを応援しよう

・花キュービットジャパン
ウイメンズオープンテニス
9月14日(土)、15日(日)

・東レ パシフィック オープンテニス
9月16日(月・祝)～9月22日(日)
[第1日無料放送]

・楽天ジャパンオープンテニス
9月30日(月)～10月6日(日)
[第1日無料放送]



スペインサッカー ラ・リーガ 2019-20シーズン

8月16日(金)開幕



LPGA女子ゴルフツアー 全英AIG女子オープン

8月1日(木)～8月4日(日)
[第1日無料放送]

🏆 待望のシーズン4がスタート



パラリンピック・ ドキュメンタリーシリーズ WHO I AM シーズン4

8月24日(土)スタート(シーズン4、全8回)
[第1回無料放送]

東京パラリンピックまであと1年。
世界最高峰のパラアスリートに迫る
超大型ドキュメンタリーシリーズ、
待望のシーズン4がスタート

それからスポーツでございますけども、VTRにありました全米オープン。大変注目でございますけども、錦織選手と大坂なおみ選手という二人の注目は当然なんですけれども、ウィンブルドンで日本選手として初めてジュニアチャンピオンになった望月慎太郎選手。今度の全米はジュニアでございますので大変注目しておりますし、WOWOWではしっかりフォローしていきたいと、そのように思っております。

それからテニスは、この全米が終わりますと日本での大会が続きます。特に注目は大坂なおみ選手が出場予定でございます。東レ パシフィックオープンテニス。それから錦織圭選手出場予定でございます、楽天ジャパンオープンテニス。立て続けに放送いたします。

特に今年の楽天ジャパンオープンは、ノバク・ジョコビッチ、世界ランキング1位のジョコビッチ選手が初めて参加いたします。これも大変注目でございます。

さらにこの大会は有明テニスの森公園、要するに来年のオリンピックで使われるコート。ここでのお披露目の試合ということにもなりますので、それも併せてご注目いただきたいと思います。

それからラ・リーガ、スペインサッカーをご紹介いたしましたけども、大変スポーツニュースある

WOWOW

いは新聞等で話題になっております、久保選手。若き久保選手、レアル・マドリードに移籍しております。この新シーズンがいよいよ8月から始まるということで、久保選手の話題もしっかりフォローしてまいりたいと思っております。

そのような強力なコンテンツをもとにして、加入を伸ばしていきたいと思っております。

2019年度 加入計画 (2019年5月15日公表値)

(単位：千件)

	2018年度 実績	2019年度 計画	前期比較	
			前期差	前期比
新規加入件数	660	610	△50	92.4%
解約件数	635	580	△55	91.3%
正味加入件数	25	30	5	119.6%
累計正味加入件数	2,901	2,931	30	101.0%

今年度の加入計画は5月の公表値と変更はございません。14期連続の正味加入件数純増、これを目指してまいります。

2019年度 収支計画 (2019年5月15日公表値)

(単位：百万円)

		2018年度		2019年度		前期比較	
		実績	収入比	計画	収入比	前期差	前期比
連結	売上高	82,623	100.0%	83,500	100.0%	876	101.1%
	営業利益	6,779	8.2%	7,600	9.1%	820	112.1%
	経常利益	7,531	9.1%	8,000	9.6%	468	106.2%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	5,182	6.3%	5,600	6.7%	417	108.0%
単体	売上高	72,951	100.0%	73,400	100.0%	448	100.6%
	営業利益	6,237	8.6%	7,100	9.7%	862	113.8%
	経常利益	7,048	9.7%	7,600	10.4%	551	107.8%
	当期純利益	4,883	6.7%	5,400	7.4%	516	110.6%

(注) 番組費：単体の売上高比として約40%を見込む。
想定為替レート：1ドル115円

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

年間配当	80円/株	80円/株	-	100.0%
------	-------	-------	---	--------

それと同時に収支計画も5月の公表値と変更ございません。増収増益を計画しております。

私からは以上でございます。

質疑応答

司会：私どもからのご説明は以上となります。これから質疑応答に移らせていただきます。ご質問のある方は挙手にしてお知らせください。係の者がマイクをお持ちいたします。

それではご質問のある方、お知らせください。

質問者 A：ご説明ありがとうございました。1点、費用について教えてください。1Qが終わって営業利益が25億8,500万で、上期のご計画との差し引きが4億ちょっとになるかと思うのですが。今後の費用のかけ方について、先ほど番組の費用の話がございましたが、ほかのところですね。費用のかけ方について教えていただければと思います。よろしく願いいたします。

尾上：それではお答え申し上げます。番組費につきましては公表値の表に書かせていただいておりますとおり、単体の売上高の40%程度で見込んでおります。基本的には年間でそちらの費用を使っていくことで、まだ下期にかけてコンテンツ等、これから決まってくる部分もあります。そちらを含めて使っていくとご理解いただければと思います。

質問者 A：番組費用以外に何か第2クォーター、4億円ちょっとの営業利益の、差し引きでいくとご計画になるので。それ以外に何か大きなマーケティング費用であったりとか、大きな費用を見込んでいらっしゃるのか。その辺り、もし可能であればご教示いただければと思います。

尾上：基本的には私どもは、やはり番組のラインナップに応じてマーケティング費用のほうもかかってきますので、そちらと連動したかたちで費用のほうがかかっていくということ。なかなか毎期、毎クォーターごと同じような費用、利益の出方にならないということをご理解いただければと思います。

質問者 A：ありがとうございました、以上です。

司会：ほかにご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

質問者 B：子会社にWOWOWプラスがあると思うのですが、数字を見ますと減収減益となっておりますが、こちらのWOWOWプラスの状況について、もう少し詳しくお伺いできればと思います。

黒水：私のほうからお答えします。WOWOWプラスはご存知のように、WOWOWの本体とは違いますがベーシックのチャンネルになっております。それぞれのプラットフォームでの放送というかたちで、収入に関してはそれぞれのスカパーさんでありますとかJ:COMさんでありますとか、そういったところの単価の設定で変わってまいりますので。そういった部分の変動で売上等々変動し

WOWOW

てくるという部分がございます。以上でございますが、よろしいでしょうか。

質問者 B：例えばなんですけれども。J:COM もそうですけれども、スカパーなども加入件数の状況はおおむね堅調と理解しておったんですけれども、この減収減益というのは多チャンネルマーケット自体がちょっとシュリンクしているから、こうなったのか。それとも WOWOW プラス独自の事情があったのか、これはどちらでしょうか。

黒水：全体的な部分というと、例えばプラットフォームさんの加入されている方の数が減っているのが確か傾向としてはあるかと思えます。そういう影響もあるかと思えますし、単体でのいわゆるプラットフォームの中での視聴のされ方。その変動も出てこようかと思っています。

当然、こういったかたちの数字の動きがありますので、番組の編成のいわゆる強化等々での認知の強化、それから普段の視聴の向上というものを今後の課題として取り組んでいるところでございます。以上でございます。

司会：ほかにご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではご質問がないようですので、ここで終了させていただきます。最後に社長、一言お願いいたします。

田中：今日は本当に暑い中、ありがとうございました。ご承知のように6月の株主総会を経て役員も新体制になりました。それから7月1日から組織も新たになりまして、本当に7月から新体制で会社が動いている状況でございます。

下期に向けまして課題としております、テーマとしておりますところのコンテンツの充実と、それからマーケティング改革。特にそこでいいますと販路の拡大等々を具体的に今、進めております。

それから WOWOW メンバーズオンデマンドのさらなる充実、それから働き方改革。これも今までずっとプランニングして準備を進めてまいりまして、ようやく8月、来月半ば以降から。

例えばリモートワークとか、あるいはフリーアドレスとか、そういった実際のアクションに来月以降入っていく段階に入っておりますので。改めまして、そういった施策が下期以降の成果につながっていくように一同やっておりますので、引き続きご支援を賜りたいと思います。

本日は本当に暑い中、ありがとうございました。

以上